



2026年1月
栃木県テニス協会 理事長 吉井正光

TTA レポート(No.137)

新年あけましておめでとうございます

旧年中は多大なるご支援を賜りありがとうございました。

2025年の振り返りにおいては国民スポーツ大会(滋賀大会)での少年男子ベスト8が挙げられます。これまでの国スポでは女子の好成績がありましたが、男子も確実に力を付けてきたことがここに表れてきていると感じております。

さて、TTAとしては通常の事業が滞りなく行われてきたことは、ひとえに登録選手の皆さまお一人ひとりが大会を盛り上げていただいたことに尽きると感じております。

しかしながら大会の参加者数の減少が喫緊の課題として浮上してきました。これはTTA の大会に魅力を感じてもらえたかったことかもしれない反省しているところです。ではこの課題をどう解決していくか。これについては明確な答えが見いだせていないのが現状です。

2026年 TTA は、テニスの魅力を知ってもらう取り組みをしていければと思っています。テニスを始める入り口と言われている Play & Stay やテニピンを積極的に展開し、ボールを追いかけ体を動かすことの楽しさを感じてもらえればテニスをはじめるきっかけが出来て、やがてはテニス人口が増えるのではないかと思います。

いっぽう大会そのものでは練習の成果を存分に発揮してもらうための方法を考え、形にしていこうと思います。たとえば大会トーナメントを1回戦の1試合で終わってしまうのではなく、大会を一日楽しめる企画が実現できれば参加者が増えるのではないかと思います。しかし新しいことは自分達だけではなかなか思いつかないことが多いと思いますので、ぜひ皆様のご意見も伺っていければと思います。

テニス協会が変わらなければ周りは変わっていかないと考えます。今年の干支は午(うま)であり、「前進」や「活気」がテーマとされています。変革を恐れず挑戦していく年にしたいと思います。

